

市長記者会見（平成29年度予算（案）概要）

日 時：平成29年2月24日（金）午後1時30分～2時

場 所：射水市役所会議室305・306

報道出席者：北日本新聞社、富山新聞社、北陸中日新聞社、富山テレビ、射水CATV、庄東タイムス

当局出席者：市長、財務管理部長、企画管理部次長、港湾・観光課長、射水消防本部総務課長、地域振興・文化課長、市民課長、未来創造課長（司会）

質疑応答の概要

Q1． 旧新湊庁舎跡地について、今後どのように進めて行くのか。コンサルで計画をしていると思うが、見通しなどを教えてほしい。

A1． 旧新湊庁舎跡地の利活用については、現在コンサルに委託し、民間事業者の意向などの可能性調査を行っている。内容については、3月定例会で議会にも現在の状況を報告したいと考えている。コンサルで行った民間事業者の意向調査を踏まえ、新年度からは具体的な計画の策定に入っていきたい。基本構想として掲げていた交通ターミナルの機能を設けつつ、複合的な建設物について、例えば公共の窓口や貸会議室、関係商業団体の事務所、民間企業の事務所の可能性、更に、上層階には民間事業者と提携した宿泊施設や住居の可能性の調査を行っており、これらを踏まえながら具体的な計画の作成を29年度に行っていく。また、設計に基づき、30年以降には実際の整備等に入っていきたい。内容を固めていく段階においては、いろいろなご意見をいただきながら、地域に根差し、喜んでいただける施設として考えていきたい。（市長）

Q2． 発表事項1のカニふうせんについて、真っ赤な色で目を引く、インパクトのある仕上がりになっているが、市長から見てどのような出来栄えになったか。首都圏でも配布されるという事で、どのような効果を期待しているか。

A2． 出来栄えについては、非常にインパクトのある出来だと思っている。迫力のあるカニの顔に驚くかもしれないが、描かれているカニに付いているタグをぜひアピールしていきたいと思う。今年度から県では富山湾で水揚げされたベニズワイガニを「高志の紅ガニ」としてブランド化を図っている。厳しい基準を満たしたカニにタグが付くことになっている。

従来から、新湊漁港では水揚げされた品質の良いカニに「新湊漁港」のタグを付けているが、従来のものから更に品質の良いものに「高志の紅ガニ」のタグが付く。私どもとしては、新湊産で「高志の紅ガニ」のタグのついたカニは最上級だと自負をしている。カニふうせんの配布の際には、そのような話もしながら、富山湾、新湊で水揚げされるカニの新鮮さなどの魅力を発信していきたいと思っている。(市長)